

11月17日（月）^き聞く

四年生が、「^き聞くこと」について
^{まな}学び合いました。^あ入間市児童発達センターの
^{せんせい}先生が^{じゅぎょう}授業をしてくれました。



「^{はなし}話を^きどこで聞きますか」という^{しつもん}質問に、
四年生からは、^{いけん}いろいろな意見が^で出てきました。

・^{みみ}耳

・^{こまく}鼓膜

・^{のう}脳

・^{からだ}体

・^{せなか}背中

・^{こころ}心

・^め目

・^{しんぞう}心臓

・^{からだぜんたい}体全体

など

^{はなし}話を^き聴く時に使うのは、^{みみ}耳^{だけ}ではないことを、四年生が
^わ分かっているのだと思い、^{うれ}嬉しくなりました。

「^き聞く」という漢字には「^{かんじ}耳」がありますが、「^き聴く」とい
う漢字には「^{かんじ}耳」と「^め目」と「^{こころ}心」があります。^{じゅぎょうちゅう}授業中、
^{せんせい}先生や^{ともだち}友達の話^{はなし}を「^ききく」のは「^き聴」の字の方です。

「^き聴く^{ちから}力」の^{たか}高い子は、^こどんどん^{あたま}頭が良くなります。^{さいご}最後
^{だま}まで^き黙って聞くことができ、^わ分からないことがあつたら
^き訊くことができる子が、「^き聴く^{ちから}力の^{たか}高い子」です。

^{きょう}今日も、^{せんせい}先生や^{ともだち}友達の話^{はなし}、^{ほうそう}放送などを、^きしっかり聴いて^{よい}良い
^{いちにち}一日にしましょう。

村越 新